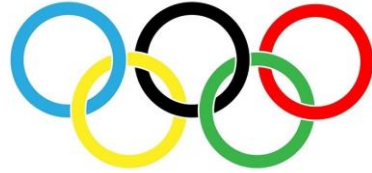


TOKYO ● 2020



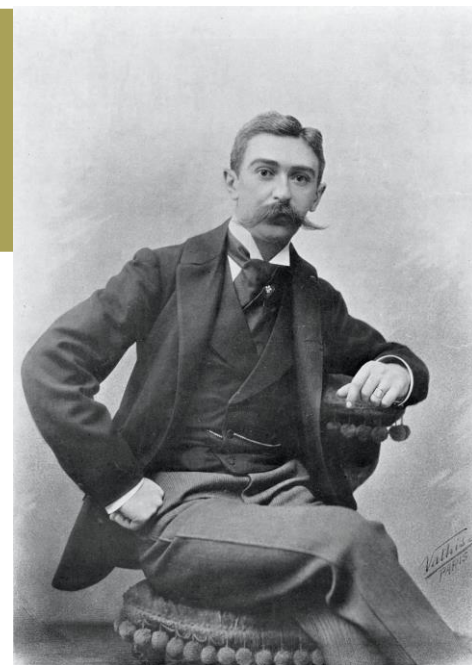
Kids handball festival in kashiwanoha
2021.06.20(sun)

ケーブルタンの見たスポーツとは？

オリンピックについて考えてみましょう！

近代オリンピックは誰が始めたの？

(答え) ピエール・ド・クーベルタン

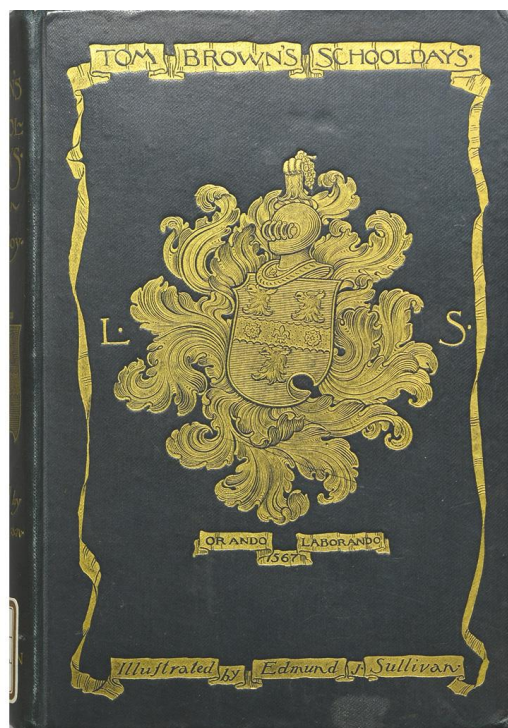


クーベルタンがスポーツと出会うまで

クーベルタンは1863年1月1日、名門貴族の三男としてパリに生まれます。当時のフランスはプロシアとの戦争（普仏戦争）に敗戦し、社会は混乱していました。クーベルタンは陸軍士官学校に入学しますが、軍隊的厳しい教育になじめず退学しました。



一冊の本がクーベルタンの人生を変えます！



自分を見失っていたある日、一冊の本と出会います。

イギリスの「トムブラウンの学校生活」という本です。

「トムブラウンの学校生活」どんな話？

トムブラウンがスポーツや学校生活を通して成長していく物語です。

この本に出会い、イギリスには「スポーツ」というものがあることを初めて知ります。





そうだ！
トムブラウンが通っていた学校に行ってみよう！

今、フランスに必要なのは
「教育だ！」と考えたクーベルタンは、イギリスへパブリックスクールの視察に行きました。

パブリックスクールとは？

日本の中学校や高校のようなものです。

当時のパブリックスクールは、身分の高い人が中心で、自分より身分の低い教師をばかにしたり、いじめがあったり、けんかがあったり、周辺住民とのトラブルも多かったそうです。

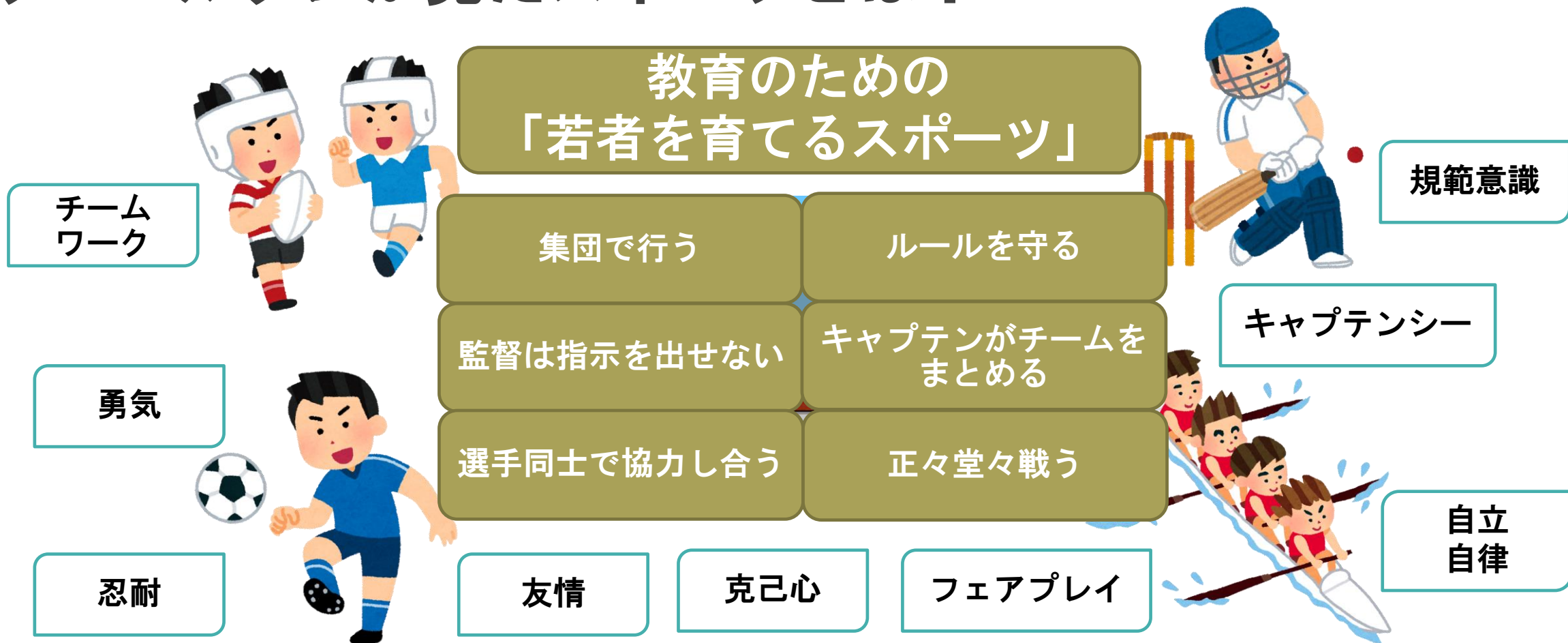


この子たちをなんとかしたい！



「トムブラウンの学校生活」の物語にも出てくる、トマス・アーノルド校長たちが集団スポーツを教育に導入し、心と体を育てるとい改革を行った。

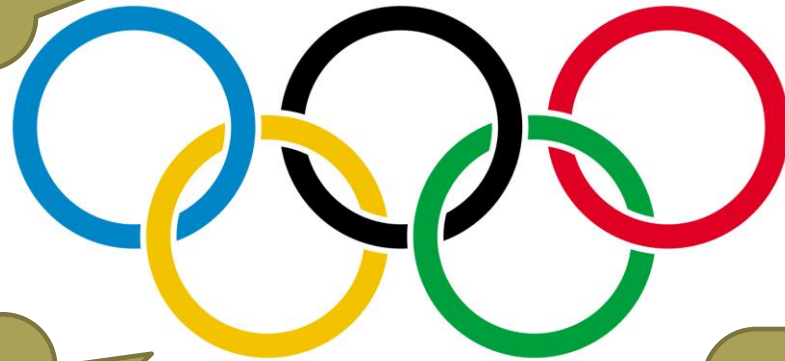
つまり！ クーベルタンが見たスポーツとは？



クーベルタンは思いました

これは素晴らしい！
フランスでもやろう！

いや！世界に広げよう！



スポーツの精神があれば
世界は平和になる！

スポーツで世界を一つにしよう！

ちなみに・・・

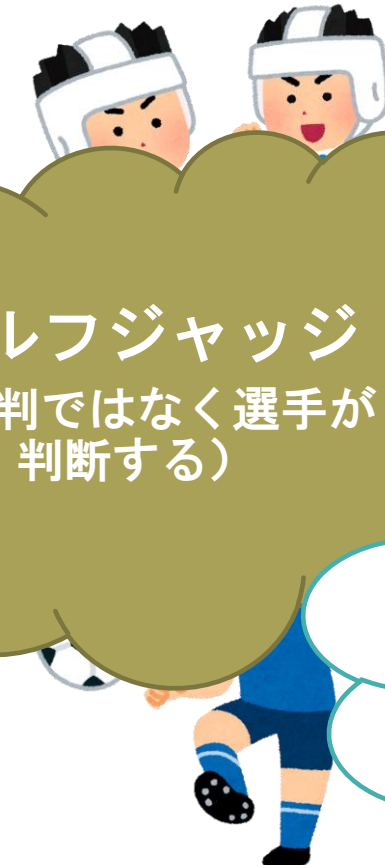


「トムブラウンの学校生活」の舞台となった学校は、ラグビー校（トマス・アーノルド校長）だったのです！ラグビーの発祥となった学校です！健全な生徒を育てるために「監督ではなく、キャプテンを中心に選手が協力し合う」という教育の要素の詰まった、「ラグビー」というスポーツを作ったのです。


クーベルタンは、ラグビー校にあるアーノルドの墓石の前で「フランスにおけるアーノルドになる」と誓ったそうです。

また、クーベルタンはラグビー校を訪問した際にラグビーに魅了され、自身もプレイを始め、審判の資格も取得したそうです。



その他のイギリス発祥のスポーツ



セルフジャッジ
(審判ではなく選手が判断する)



スポーツマンシップ



コンシード
(全プレイが終わる前に相手にかなわないと思ったら負けを認める)



その他のオリンピック種目（個人種目）



- ・ 体力の限界に挑戦する
- ・ 自己に打ち勝つ



- ・ ライバルは敵ではなく、自分を育ててくれる仲間



そこで今回の大会は、クーベルタンの思いを尊重し、
オリンピズムにそった試合を行ってみます！

監督は指示をださず
選手だけで協力する

審判に文句は言わない

ルールを守る

相手を敬う
(相手のおかげで自分が
成長できる)

勝敗よりもプレイを楽し
み、自分たちの成長を大
切にする。

フェアプレー！
セルフジャッジ
負けを認める

クーベルタンの遺した言葉

自己を知る、自己を律する、自己に打ち克つ、これこそがアスリートの義務であり、最も大切なことである。

オリンピックで最も重要なことは、勝つことではなく参加することである。同様に、人生において最も重要なことは、勝つことではなく奮励努力することである。肝要なのは、勝利者になったということではなく健気に戦ったということである。

スポーツを通して心身を向上させ、さらには文化・国籍など様々な差異を超え、友情、連帯感、フェアプレーの精神をもって理解し合うことで、平和でよりよい世界の実現に貢献する

そしてこんな言葉も残しています。

「もし輪廻（りんね）というものが実際に存在し100年後にこの世に戻ってきたなら、私は自分が作ったものをすべて破壊することでしょう」

政治利用

勝利至上主義
(勝つことばかり
を優先する)

お金もうけ

パワハラ

非紳士的行為

ドーピング

エリート主義

マスコミ

オリンピックでのフェアプレイを見てみましょう！

みんなはこういう判断ができますか？

[【サッカー】これぞ究極のフェアプレー！監督が選手にPKを外すよう指示！TOP10 - YouTube](#)

[ヒューイット戦で見たテニス選手のカッコ良過ぎるスポーツマンシップ - YouTube](#)

[【水谷隼 丹羽孝希ら】フェアプレー集【早田ひな 石川佳純ら】 - YouTube](#)

[2018年 平昌冬季オリンピック 小平奈緒選手と李相花（イ・サンファ）選手 - YouTube](#)

そして最後に・・・

オリンピックの試合も、今日のみんなの試合も同じ「スポーツ」です！

大会のレベルではなく、大会の質です！

みんながどれだけ成長できたか？どれだけ楽しんだか？

それがもっとも重要です！

さあ！今日はハンドボールを思いきり楽しみましょう！